



東京未来ビジョン懇談会通信

2017.6.23 東京都

発行：政策企画局計画部

この懇談会は、都における政策の推進や政策形成等に新たな発想を取り入れるため、各界の第一線で活躍している新進気鋭の若手の方々と意見交換を行うことを目的に設置されました。今月は、第1回ビジョ懇での小池都知事のお話にあった「二十世紀の豫言」をご紹介します。

小池都知事のお話 今から100年以上前、当時の報知新聞の記事「二十世紀の豫言」において、エアコン、自動車の普及など、当時は夢物語だと思われていたものが描かれ、この100年間で現実のものになっています。

ここで、知事がお話しした「二十世紀の豫言」をご説明します。

二十世紀の豫言

報知新聞(1901年1月2日、3日発行)

20世紀 最初の年、「二十世紀の豫言」という題名で20世紀に実現するであろうことを予測した記事が掲載されました。

記事には分野ごとに全部で **23の予言** が記されています。



現実になっているもの…例えば

新機械が發明され、暑さや寒さを調和するために適当な空気を送り出すことができるだろう。

エアコンですね。今では空気清浄まで行ってくれます。

馬車は廃れ、これに代わるものとして**自動車**が廉価で買えるようになるだろう。馬は僅かに物好きな人に飼育されるようになるだろう。

街中で自動車はよく見かけますが、馬は見かけません。馬を見かけるのは動物園や競馬場ぐらいなものですね。

19世紀末において80日間を必要とした**世界一周**は、20世紀末には7日で足りるようになるだろう。

現在、飛行機を使えば、世界一周は2日程度でできてしまいますね。

ちなみに現実になっていないものも…例えば

蚊および蚤(ノミ)の滅亡

デング熱で蚊の駆除が続いたのは記憶に新しいですね。～蚊の発生防止～ やるし蚊(か)ない

人と獣の会話自在

残念ですが、会話は成立していません。

暴風を防ぐ(暴風が起こりそうになれば、大砲を空中に放って、雨にしよう)

気象予報の技術は進歩していますが、天候を変えるまでには至っていません。

～・～おわりに～・～

この東京未来ビジョン懇談会では、東京の20年、30年、50年先の未来について語っていきます。それぞれ色々な分野の方をお呼びして、未来の東京はこんな東京であってほしい…そんなわくわくすることを語っていただく会議にしていきたいと思ひます。